



平成 30 年 4 月 10 日

各位

会 社 名 株式会社パルコ
代表者名 代表執行役社長 牧山 浩三
(コード：8251 東証第一部)
問合せ先 広報/IR室 室長 草川 美華
(電話：03-3477-5710)

(訂正)「2018年2月期 クォーターレポート」の一部訂正について

1. 訂正の理由

平成 30 年 4 月 9 日に開示しました「2018 年 2 月期 クォーターレポート」につきまして、一部誤りがありましたので、お知らせいたします。(訂正箇所には下線を付して表示しております。)

2. 訂正の箇所および内容

3 ページ 4 連結業績 連結 2017 年度

訂正前	営業キャッシュフロー	2017 年度	20,286 百万円
		2016 年度	10,334 百万円
		増減額	9,952 百万円
	投資キャッシュフロー	2017 年度	▲10,452 百万円
		2016 年度	▲7,604 百万円
		増減額	▲2,848 百万円
訂正後	営業キャッシュフロー	2017 年度	<u>21,386</u> 百万円
		2016 年度	<u>7,690</u> 百万円
		増減額	<u>13,696</u> 百万円
	投資キャッシュフロー	2017 年度	<u>▲11,552</u> 百万円
		2016 年度	<u>▲4,961</u> 百万円
		増減額	<u>▲6,591</u> 百万円

以上

クォーターレポート 2017年度 第4四半期

- 1 経営からのコメント
- 2 連結決算の概要
- 3 新規店舗開業計画・閉店
- 4 連結業績
- 5 単体業績
- 6 パルコ店舗営業概況
- 7 会社別の業績
- 8 業績予想

1 経営からのコメント

2017年度決算は、ショッピングセンター事業での前期の渋谷パルコの一時休業や千葉パルコの閉店に加え8月の大津パルコの閉店などにより減収減益となりましたが、今期開業した店舗の貢献や大津パルコの閉店影響(戻入)などにより、営業利益と当期利益は計画を上回って着地しました。

中期経営計画(2017-2021年度)の初年度である2017年度は、その戦術の一つ、「商業不動産プロデュース」では、新しい屋号の商業施設「PARCO_ya (パルコヤ)」が11月上野に開業し好調にスタートしたのに加えて、同月京都ゼロゲートの上層階が開業し、2018年度3月には原宿ゼロゲートも開業しました。また、新規の開発物件として、墨田区錦糸町駅前物件と大丸心斎橋店北館への出店を発表しました。さらに新たに発表した川崎のゼロゲートに加え、中期経営計画で目標としている開発物件12件のうち3件がすでに開業し、新生渋谷パルコをはじめとする6件の計画は順調に進捗しています。

戦術「ストアブランド進化」では、新しく開業したパルコヤ上野での店内案内とテナントの棚卸補助を行うロボットの実証実験や館内の各ショップにご活用いただくための来店者数と年齢・性別を計測するシステムの導入など、顧客への店頭サービスの拡張とテナントやブランドの販売力と情報発信の強化のサポートに取り組んでいます。

また、戦術「ソフトコンテンツ拡大」では、エンタテインメント事業において外部演劇公演の作品が高い話題性を獲得しヒットしたほか、数ある海外作品の中から選び国内配給を受託した複数の映画がアカデミー賞で受賞やノミネートされ国際的に高い評価を受けるなど目利き力を発揮しました。また、渋谷にミニシアター「シネクイント」の7月復活オープンをこの3月に発表しました。

2018年度の業績は、中期経営計画2年目の計画値通りの利益を予想しています。ゼロゲートも含めた店舗の開業効果を見込んで増収の計画とし、営業利益には2017年度の大津パルコの閉店影響(戻入)と2018年度とそれ以降の開発コストの増加などを見込み微増としています。

1株当たりの配当は、2017年度から1円増配し、年間配当は24円の予想としました。

パルコグループは、パルコの情報発信力と編集力をさらに強化し世界中のお客様が期待する先進的な店づくりを行うとともに新しい時代を先取りした事業戦略を積極的に進め、中期経営計画達成に向けて業務を推進してまいります。今後もパルコグループの活動にご注目ください。

連結決算の概要

2017年度決算においては、ショッピングセンター事業の一時休業や閉店影響に伴う「営業収益」の減少などにより減収
「営業利益」、「親会社の所有者に帰属する当期利益」(以下、当期利益)は減益も、計画は達成

- 「営業収益」は、(株)パルコの前期7月に開業した仙台パルコ2や今期11月に開業したパルコヤ上野による寄与、(株)パルコスペースシステムズの工事受注増による貢献などがあったものの、今期8月末での大津パルコの閉店や前期の渋谷パルコの一時休業、千葉パルコの閉店の影響や既存パルコ店舗での衣料品販売の苦戦などにより減収
- 前期の渋谷パルコ建替え計画に関わる固定資産売却の影響などにより「営業利益」、「当期利益」は減益も、大津パルコの閉店影響(戻入)などがあり、計画を上回って着地。

※2017年度よりIFRSを適用

新規店舗開業計画・閉店

2017	2018	2019	2021
パルコヤ(上野) 2017年11月開業	原宿ゼロゲート 2018年3月開業	墨田区錦糸町駅前計画 2019年春開業予定	大丸心斎橋店北館内(大阪市) 2021年春開業予定
京都ゼロゲート 2017年11月上層階開業	三宮ゼロゲート(神戸市) ※1 2018年秋開業予定	浦添西海岸計画(沖縄県) ※2 2019年夏開業予定	
		川崎ゼロゲート ※1 2019年初秋開業予定	
		新生渋谷パルコ計画 (宇田川町15地区開発計画) 2019年秋開業予定	

大津パルコ
2017年8月営業終了

※1 仮称

※2 (株)サンエーと(株)パルコとの合併会社である(株)サンエーパルコ(2016年12月設立)が沖縄県で商業施設の運営事業などを行う予定

連結業績

	百万円			
	2017年度	2016年度	増減額	前年比
連結2017年度				
営業収益	91,621	93,780	▲2,159	97.7%
営業総利益	29,263	31,302	▲2,039	93.5%
事業利益 ※1	10,284	12,797	▲2,513	80.4%
営業利益	11,713	14,203	▲2,490	82.5%
当期利益	7,809	8,795	▲985	88.8%
一株あたり当期利益	76.97	86.69	▲9.72	88.8%
営業キャッシュフロー	21,386	7,690	13,696	-
投資キャッシュフロー	▲11,552	▲4,961	▲6,591	-
財務キャッシュフロー	▲7,897	1,210	▲9,107	-
EBITDA ※2	17,372	19,502	▲2,130	89.1%
連結2017年度年度末				
資産合計	261,835	248,806	13,029	105.2%
資本合計	126,311	120,600	5,710	104.7%
有利子負債	52,820	58,162	▲5,342	90.8%

	百万円		
	2017年度	増減額	前年比
連結セグメント別業績 ※3			
ショッピングセンター事業（パルコ、パルコシンガポール）			
営業収益	51,351	▲2,513	95.3%
セグメント利益	10,964	▲2,215	83.2%
専門店事業（ヌーヴ・エイ）			
営業収益	21,216	▲315	98.5%
セグメント利益	75	▲129	36.7%
総合空間事業（パルコスペースシステムズ）			
営業収益	21,399	870	104.2%
セグメント利益	652	▲121	84.4%
その他の事業（パルコデジタルマーケティング、エンタテインメント事業）			
営業収益	6,158	20	100.3%
セグメント利益	53	7	117.2%
合計			
営業収益	100,125	▲1,938	98.1%
セグメント利益	11,745	▲2,458	82.7%
連結（セグメント間取引調整後）			
営業収益	91,621	▲2,159	97.7%
セグメント利益	11,713	▲2,490	82.5%

	百万円		
	2017年度	増減額	前年比
連結主な販売費及び一般管理費			
販売費及び一般管理費計	18,979	474	102.6%
人件費	8,032	▲65	99.2%
借地借家料	3,013	127	104.4%
宣伝費	665	85	114.7%
業務委託費	1,200	48	104.2%
減価償却費	857	21	102.6%
租税公課	818	273	150.2%

	百万円	
	2017年	増減額
連結主な金融収支、持分法による投資損失		
金融収益計	144	▲24
受取利息	142	▲24
金融費用計（支払利息）	372	8
持分法による投資損失	29	▲309

	百万円		
	2017年度	増減額	主要内容
連結主なその他の損益			
その他の収益計			
受取補償金	1,951	975	渋谷再開発に関わる補償金
固定資産売却益	0	▲3,253	前年 渋谷再開発に関わる固定資産売却
その他	901	164	大津パルコ店舗閉鎖損失引当金戻入など
その他の費用計			
固定資産除却損	665	▲99	パルコ店舗改装
減損損失	497	▲304	前期 三宮ゼロゲート、ヌーヴ・エイ店舗減損など
店舗閉鎖損失	-	▲1,041	前期 大津パルコ
その他	261	▲690	前期 渋谷パルコ建替計画に関わる土地売却など

※1 事業利益は「営業総利益 - 販売費及び一般管理費」で算出

※2 EBITDAは、「営業利益 + 減価償却費(連結キャッシュ・フロー計算書の減価償却費及び償却費)」で算出

※3 (株)パルコのエンタテインメント事業の業績は、「その他の事業」に含まれる

単体業績

				百万円
	2017年度	2016年度	増減額	前年比
2017年度				
営業収益	56,462	58,991	▲2,528	95.7%
営業総利益	17,766	19,803	▲2,037	89.7%
事業利益 ※1	9,338	11,868	▲2,530	78.7%
営業利益	11,016	11,338	▲321	97.2%
当期利益	7,680	7,380	300	104.1%
2017年年度末				
資産合計	258,562	245,802	12,759	105.2%
資本合計	125,089	119,621	5,467	104.6%

	百万円		
	2017年度	増減額	前年比
主な販売費及び一般管理費			
販売費及び一般管理費計	8,428	493	106.2%
人件費	3,737	90	102.5%
借地借家料	602	101	120.3%
宣伝費	291	92	146.7%
業務委託費	1,003	11	101.1%
減価償却費	408	9	102.4%
租税公課	598	221	158.5%

	百万円	
	2017年度	増減額
主な金融収支		
金融収益計	432	242
受取利息	147	▲22
受取配当金 ※2	284	265
金融費用計（支払利息）	384	10

	百万円	
	2017年度	前年比
バルコ 店舗別テナント取扱高 ※3		
札幌バルコ	13,421	97.8%
仙台バルコ	20,030	110.1%
池袋バルコ	28,458	102.7%
渋谷バルコ ※4	1,138	12.6%
バルコヤ上野 ※5	2,265	-
静岡バルコ	10,600	98.4%
名古屋バルコ	34,671	90.6%
広島バルコ	16,719	98.4%
福岡バルコ	22,243	102.6%
都心型店舗グループ 9店舗 計	149,549	95.6%
宇都宮バルコ	3,061	82.2%
浦和バルコ	24,618	101.3%
新所沢バルコ	10,614	102.4%
津田沼バルコ	10,682	107.8%
ひばりが丘バルコ	8,162	101.8%
吉祥寺バルコ	9,619	103.2%
調布バルコ	18,576	100.1%
松本バルコ	7,278	90.8%
大津バルコ ※6	2,297	49.2%
熊本バルコ	4,989	79.9%
コミュニティ型店舗グループ 10店舗 計	99,901	92.1%
合計 ※7	249,451	94.2%
既存店計 ※8	237,466	98.3%

	百万円		主な内容
	2017年度	増減額	
主なその他の損益			
その他の収益計	2,837	▲486	
受取補償金	1,951	975	渋谷再開発に関わる補償金
固定資産売却益	0	▲1,606	前期 渋谷再開発に関わる不動産売却
その他	885	144	大津バルコ店舗閉鎖損失引当金戻入など
その他の費用計	1,158	▲2,694	
固定資産除却損	667	▲96	バルコ店舗改装
減損損失	235	▲346	前期 三宮ゼロゲート など
店舗閉鎖損失	-	▲1,041	前期 大津バルコ
その他	255	▲1,210	前期 渋谷バルコ建替計画に関わる土地売却など

※1 事業利益は「営業総利益 - 販売費及び一般管理費」で算出

※2 子会社からの受取配当金

※3 「テナント取扱高」とは、バルコ店舗におけるテナント取扱高の合計値で、前年の値も同じ基準で集計

※4 渋谷バルコ パート1とパート3は2016年8月7日の営業をもって一時休業

※5 バルコヤ上野は2017年11月4日に開業

※6 大津バルコは2017年8月31日の営業をもって閉店

※7 合計の前年比の元となる前年値に、千葉バルコ(2016年11月30日閉店)の値を含む

※8 既存店計には、渋谷バルコ パート1とパート3、仙台バルコ2(2016年7月1日開業)、大津バルコ、バルコヤ上野の値を含まない
クォーターレポート 2017年度 第4四半期

パルコ店舗営業概況

アイテム別テナント取扱高（既存店）	前年比
婦人服	90.7%
紳士服	93.2%
衣料品総合	98.3%
衣料品計	93.6%
靴	92.9%
バッグ	92.6%
装身具	94.0%
化粧品	104.8%
身回品計	96.6%
雑貨計	104.9%
食品	100.3%
飲食	102.0%
その他（サービスほか）	104.7%

買上客数、客単価（既存店）	前年比
買上客数	99.7%
客単価	98.6%

百万円

	取扱高	前年比	取扱高シェア
クレジットカード概況 ※1			
クレジットカード	109,138	99.6%	44.8%
パルコカード	55,430	97.6%	22.8%

改装概況 ※2	
改装区画数	289
内、新規出店区画数	174
改装面積	約35,000㎡
ゾーン取扱高前期比	126.7%

月別テナント取扱高対前年同期比推移 ※3	3月	4月	5月	6月	7月	8月
全店合計	94.0%	94.1%	94.2%	92.6%	88.2%	96.1%
既存店計	98.9%	100.5%	99.5%	99.8%	97.0%	101.2%
	9月	10月	11月	12月	1月	2月
全店合計	93.8%	88.8%	95.3%	98.5%	97.0%	98.7%
既存店計	98.4%	93.5%	98.4%	97.7%	96.1%	98.2%

	札幌パルコ	池袋パルコ	福岡パルコ	名古屋パルコ	既存店計
主な店舗のインバウンドテナント取扱高実績（参考）※4					
海外発行クレジットカード等取扱高前年比	103.7%	125.2%	154.2%	238.2%	125.1%
同 各店舗取扱高シェア	12.2%	3.9%	2.7%	1.3%	1.7%
同 各店舗取扱高シェア 前年差	+0.7%	+0.7%	+0.9%	+0.8%	+0.1%

※ 既存店計には、渋谷パルコ パート1とパート3、仙台パルコ2、大津パルコ、パルコヤ上野の値を含まない

※1 クレジットカード概況は、渋谷パルコ、仙台パルコ2、大津パルコ、パルコヤ上野の値を含まない

※2 改装概況は、渋谷パルコ、大津パルコ、パルコヤ上野を含まない

※3 月別テナント取扱高対前年同期比推移の既存店計は、前期同月に営業実績のある店(ビル)の合計値

※4 インバウンドテナント取扱高実績の既存店計には、渋谷パルコ、大津パルコ、パルコヤ上野の値を含まない

会社別の業績

	パルコ	ヌーヴ・エイ	パルコスペースシステムズ	パルコデジタルマーケティング	パルコシンガポール
2017年度					
営業収益	56,462	21,216	21,399	882	169
営業利益	11,016	75	652	68	▲67
当期利益	7,680	39	446	49	▲66
パルコによる所有割合	-	100%	100%	100%	100%

・ヌーヴ・エイ 前期より店舗数が減少したことや 利益率の高い主力の時計事業の不振などにより減収減益
 ・パルコスペースシステムズ 内装、電気工事の受注増などにより増収も、前期の固定資産売却益の反動減などにより減収
 ・パルコデジタルマーケティング 求人事業撤退などにより減収も、Web事業に集中したことや販管費の効率化などにより増益
 ・パルコシンガポール 日系飲食ゾーンの事業などを推進。ベトナム ホーチミンでの商業施設デザインコンサルティングサービスの提供などにより増収、損失額が縮小

* パルコ・シティは、2017年3月1日よりパルコデジタルマーケティングに社名変更

クォーターレポート 2017年度 第4四半期

業績予想

	百万円			
	2018年度	前年比	2018年度	前年比
	2Q累計		4Q累計	
連結2018年度				
営業収益	46,400	102.6%	96,000	104.8%
事業利益 ※1	5,700	99.5%	10,750	104.5%
営業利益	6,400	96.0%	11,750	100.3%
親会社の所有者に帰属する当期（四半期）利益	4,250	95.1%	7,700	98.6%
基本的1株当たり当期（四半期）利益	41.89	—	75.89	—

	百万円			
	2018年度	前年比	2018年度	前年比
	2Q累計		4Q累計	
単体2018年度				
営業収益	28,843	103.6%	59,375	105.2%
事業利益 ※1	5,434	100.8%	9,724	104.1%
営業利益	6,174	94.7%	10,782	97.9%
当期（四半期）利益	4,261	91.0%	7,272	94.7%

	テナント取扱高対前年同期比予想						
	1Q	2Q	1Q、2Q計	3Q	4Q	3Q、4Q計	4Q累計
全店合計	100.9%	101.3%	101.1%	103.9%	104.3%	104.1%	102.6%
既存店計 ※2	100.1%	100.6%	100.3%	102.4%	104.2%	103.3%	101.8%

※1 事業利益は「営業総利益 - 販売費及び一般管理費」で算出

※2 テナント取扱高対前年同期比予想は、大津パルコ、パルコヤ上野を含まない

PARCO
www.parco.co.jp